

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ講座		
タイトル	「水元公園 花菖蒲と水辺の植物」		
実施日時	平成29年 6月9日(金) 10時~14時		
実施場所	東京都 葛飾区 水元公園		
受講者	39名	F I C会員他スタッフ	13名

活動の内容：都の水郷公園「水元公園」で、水辺の植物を観察する企画です。

水元公園はかつて小合溜井（こあいためい）といわれ、古利根川の本流で、江戸川に合流していました。当時、江戸川が増水すると古利根川に逆流し、江戸市街まで水害をもたらしたことから、その対策として中川の開削が行われ、水害の原因であった古利根川の本流は、中川を流れるようになりました。川筋であった小合溜は堰き止められ、独立した広大な溜池になったのは、享保14年（1729）八代将軍吉宗の時代です。

水郷公園「水元公園」は、この小合溜を中心に96.3ha（ワタル）の広さがあります。



午前、公園の東のエリア、都水産試験場跡地の「水辺のさと自然保護区」「水辺のいきもの館」を中心に、水辺の植物・植生・環境を観察します。「オニバス」「アサザ」は、ここが都内で唯一の自生地で保護されています。その他、ハス・ヤナギの仲間・イ・ミクリ・タコノアシ・ウキヤガラ・マコモ・アシ（ヨシ）。よく見るとヒメガマは花の真っ盛り、黄色い花粉はキズの薬、因幡の白ウサギの話を思い出します。カキツバタは既に実をつけ、ショウブも実、ハンゲショウは開花にそなえて葉っぱのお化粧中など、水辺の植物三昧？ 「水辺のさと」の木陰でゆっくり昼食にしました。



アサザの花

午後、小合溜のヒシ・スイレンを見ながら「はなしょうぶ園」に。約100品種、20万本の花菖蒲が咲きそろい見事な眺めです。「カキツバタ」・「ハナショウブ」・「アヤメ」の違いをここで再確認。しばらく自由散策したあと、解散しました。

「水元公園、初めて。」という方が意外に多かったです。また今回は東エリアで、水辺の植物中心のご案内でしたが、いかがだったでしょうか。他のエリアは、またゆっくり来てください。



オニバスの花

